

## コラム 井戸端での独り言

### 「e スポーツ」

昨年度は、台風 19 号災害が発生し、当商店街のみならず長野市全体として経済活動が停滞しました。そうした状況下において何とか商店街に賑わいを創出しようと、(株)共和コーポレーションさんの協力のもと、地域団体が主催としては県下初の「NAGANO e スポーツフェスティバル in 長野千石劇場」と題した映画館での大規模な e スポーツイベントを令和元年 11 月 23 日に開催しました。後援 11 団体、協力 4 団体、協賛 20 団体の支援を受け、当日は 108 席の会場に参加者・観覧者含めおよそ 250 名が集まり、世界のトッププレイヤーも参戦し大きな賑わいを見せ、多くの皆様からお褒めの言葉を頂戴し、イベントは大成功でした。また、組合員のボランティアによる飲食ブースとこども食堂を出店したとともに災害の募金活動も行い、少しでも災害復興の一助になればと、集まった募金は飲食ブースでの売上と合わせて長野市役所へ皆様からのお気持ちとしてお届けしました。

会場内は熱気に包まれ、世界的プレイヤーで中国チャンピオン経験もある QIUQIU さん、日本のトッププレイヤーであるジョジョ太郎さん、全国規模の大会で活躍中の Vof/華蓮さん、たぬき | - R.I.P - さんが参加したこともあり、トーナメントは大変白熱しました。また、シアター外に設置した無料体験ブースでは幅広い年齢層の来場者や親子連れで溢れ返りました。

もともとこのイベントは、長野駅前エリア及び商店街の新たな賑わい創出及び個店への波及効果を目的に企画されました。これまで馴染みの無い若年層にイベントを通じて商店街を知ってもらい、そしてファンになってもらうことで長く商店街への来街者となり、どんどんと次世代へファンの連鎖が続いてもらえるようにしたいといった取り組みです。そのために、フェスティバルの告知を兼ねて、当組合加盟店による e スポーツのミニイベントを下記のとおり開催してきました。

- ・ 7 月 28 日 (日) 第 1 回長野駅前 e スポーツ大会 in 和伊ん
- ・ 8 月 1 日 (木) ~ 2 日 (金) 「蟻の市」において e スポーツ無料体験ブースの設置
- ・ 9 月 1 日 (日) 第 2 回長野駅前 e スポーツ大会 in ワンチエケール
- ・ 9 月 29 日 (日) 第 3 回長野駅前スポーツ大会 in わいん

「e スポーツの街」を目指してやっと第一歩を踏み出した矢先に今回のコロナショックが起きました。「ソーシャル・ディスタンス」という単語が社会に定着し、今後私たちの商業活動や生活様式は多くの変化が必要となってくるでしょう。しかしながら、この 5 月 15 日現在でも緊急事態宣言は継続されたままの地域もあり、8 月までのイベントは全国的に中止の流れが定着しています。人の流れが駅前や商店街にまだ戻らず、賑わいの促進事業も実施しにくい雰囲気の中で、当組合の本来の目的である個店への波及効果を見込めるよう

な e スポーツイベントをどのように持続していくのかということが喫緊の課題です。

そもそもネット上のゲームは、家にいながら世界中のプレイヤーとプレイすることができることが画期的だったわけなので、実施すること自体には問題はないと思います。しかし、それでは商店街などの地域団体が主催する意味はなくなってきました。参加者や Web 来場者に買い物クーポンを渡したり、商店街の店舗商品を景品にするなど、何かしら組合員のメリットになり、コロナ後の商店街像のテストケースになるようなことを取り入れないと実施は難しいと思います。事務局としてはこのあたりのところがコロナショックにおける命題と言いますか問われるところだと思います。

しかし、香川県がゲームの利用時間などの目安を盛り込んだ条例を施行するなど、依存性を含めてさまざまな批判があることも事実です。一長一短という言葉がありますが、デメリットばかりを見て、メリットや可能性を全く見なくなるのではなく、デメリットを認識しながらも可能性をさらに広げていきたいと当組合は考えています。e スポーツを教育に導入することに関心を持つ研究機関や学校も出てきており、こうした皆さんがコミュニティを形成し、共同でのカリキュラム研究や e スポーツの教育的効果に関する実証を続けていただきたいと思っています。

コロナショックは不幸なことではありますが、e スポーツの魅力や可能性を認識する機会ともなり、「参加型コミュニケーションとしての娯楽」という立ち位置をより鮮明にできる可能性があります。ゲーム大国でありながら、e スポーツの途上国である日本は、産業としても文化としても健全な育成を進め、より商業活動や経済活動に寄与していくことを期待します。

こうした動きと並行して 5G がスタートします。この流れは e スポーツ業界でもワンステップ先のステージへ展開することが予測されます。こうした世界的な流れである環境変化にどう対応していけるのかがポイントであり、そうした潮流を嗅ぎ取って事業に展開していけるかも地方都市の商業活動として大変重要なことです。長野市で例えると来年の善光寺御開帳や 1 年延びたオリンピック、そして大阪万博と位置的に関係性のなかったイベントについてもテクノロジーを使うことで、これまでとは異なる賑わいや儲けを獲得することができるのではないのでしょうか。逆境をチャンスに変えて活かすことで私たちも街自体も成長していければと思います。